

■プラン名：AI作問×CBTで授業コンテンツの充実と教育DXを支援するシステム

■企業名：GMOメディア株式会社



■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置

7. 多面的な入試の実施

※ R7年度のDXハイスクールで採用実績がございます
※ 事業計画書の記載例もご用意がございます。

● 概要

情報 I (1) 情報社会の問題解決
情報 I (2) コミュニケーションと情報デザイン
情報 I (3) コンピュータとプログラミング
情報 I (4) 情報通信ネットワークとデータの活用

情報科に強く、全教科にも対応する「AI作問」で 個別最適な学びと教育DXを同時に実現するCBTプラットフォーム

<対象>

- 情報 I をはじめとする、あらゆる授業でご活用いただけます。

<期待される効果>

- **生成AI活用による教材作成の効率化と、多教科・探究への展開**
キーワードやPDF資料からAIが自動で問題を作成するため、情報科に限らず、他教科や「総合的な探究の時間」の振り返りテストなども手軽に作成・実施できます。
- **生徒に本質的な学びを促すAIの活用**
リフレクションやレポートに活用可能な「記述フォーム」をAIがスコアリング・講評するサポート機能を搭載しています。
- **CBTによる採点・集計業務の自動化と授業改善**
テストの採点や集計が自動化されるため、教員の業務負担が大幅に軽減されます。捻出された時間は、学習ログに基づいた生徒への個別指導や授業改善に充てることができます。

●ポイント

特長①
授業に沿った活用が可能

特長②
現場教員との共同開発
特許も取得

特長③
導入が簡単で継続可能

先生が用意した「PDF資料」や「キーワード」を読み込ませるだけで、AI機能が自動でテスト問題を作成します。「情報I」は事前収録の教科書対応問題もあるため、その日の授業の内容に合わせて、適切な問題を用意することができます。紙の授業プリント作成も対応しています。

現役の情報科教員と共同で開発したサービスなので、学校現場で使いやすいサービスになっています。

また、AI作問の技術では、特許を取得しております。
(特許番号：7566195)

複雑すぎない管理画面で、直感的な操作が可能です。お困りごとがあれば、メールでのお問い合わせにもすぐに回答いたします。生徒1人当たり990円なので、補助金がなくても、副教材として継続してご利用いただくことができます。



●参考価格

【条件】40名×5クラス、1教科（情報科）の場合

項目	内訳	小計（税込）
ライセンス	生徒用：200アカウント 初回導入時研修1回（オンライン）	198,000円
		合計198,000円

【条件】40名×5クラス、3教科以上の場合

項目	内訳	小計（税込）
ライセンス	生徒用：200アカウント 初回導入時研修1回（オンライン）	330,000円
		合計330,000円

【留意事項】

- ・参考価格につき、詳しくはお問合せください。条件に合わせ、お見積りいたします。
- ・2027年3月31日までのライセンスになります。

キーワードを入力して、問題形式などを選択するだけで長文問題やハイレベルな問題を簡単に作成するAI機能が搭載されています。

問題AIジェネレーター 無制限

テーマを入力するだけで、問題を生成することができます。

≡ 新規作成 🕒 生成履歴

問題計画 > 問1 > 問2

👁️ プレビュー 🔄 画像を再生成する 💾 自作問題として保存

今日

学校と図書館のホームページから学ぶ情報デザイン

昨日

日常に遊ぶ静止摩擦力 - 物体が動き出す条件を探る

坂道駐車における車両の滑り出し危険性評価シミュレーション

坂道上の物体に働く力

剛体摩擦、坂道

三角形を横切る直線と線分の比

情報を数える単位 ~ピットで測る身近なデータ~

**「コンピュータの頭脳 - CPUの基本

バブルソートの基本動作の理解

3日前

バブルソートの基礎と実行トレース

学校と図書館のホームページから学ぶ情報デザイン

(1) 次の文章の空欄[ア][イ]に入れるのに最も適当なものを、後の解答群のうちから一つずつ選べ。

ホームページにおいて、ユーザーが必要な情報を素早く見つけられるようにするためには、**視覚的階層 (visual hierarchy)** **を適切に設計することが重要である。視覚的階層とは、情報要素の**サイズ、色、位置、コントラスト**などの視覚的特性を調整することで、情報の重要度や優先順位を視覚的に伝える手法である。

例えば、重要な情報は大きなフォントサイズで表示したり、目立つ色を使用したり、ページの上部や中央など目につきやすい位置に配置したりする。また、関連する情報をまとめて配置し、余白を効果的に使うことで、ユーザーの視線の流れを誘導し、情報の理解を助けることができる。

一般的に、Webページを閲覧する際のユーザーの視線は、ページ上部から下部へ、左から右へと移動する傾向がある。特に、ページの左上部分は最初に注目される領域であり、ここに重要な情報や主要なナビゲーションを配置することが効果的とされている。

図1は、ある高校の公式ホームページのトップページである。このページには、「緊急のお知らせ」「在校生向け情報」「受験生向け情報」「学校紹介」

プレビュー 無制限

🔄 画像を再生成する 💾 自作問題として保存

$$\frac{BP}{PC} \times \frac{CQ}{QA} \times \frac{AR}{RB} = 1$$

マークせよ。

図1のようなそれらの延長

この関係式は、3つの線分の比の積が必ず1になることを示している。ここで、各線分の比は、交点によって分けられた2つの部分の長さの比を表している。

具体的な例として、図2のような三角形ABCを考える。辺BCの長さを12cm、辺CAの長さを15cm、辺ABの長さを18cmとする。

図. 直線は三

情報を数える単位 ~ピットで測る身近なデータ~

**「コンピュータの頭脳 - CPUの基本

バブルソートの基本動作の理解

3日前

バブルソートの基礎と実行トレース

詳細な特徴

- 三角形ABCが描かれており、頂点A、B、Cがそれぞれ明示されている
- 1本の直線が三角形を横切っている
- この直線と辺BCの交点をPとして表示 (Pは辺BC上にある)
- この直線と辺CAの延長線上の交点をQとして表示 (Qは点Aより外側にある)
- この直線と辺ABの交点をRとして表示 (Rは辺AB上にある)
- 3つの交点P、Q、Rが明確に示されている

生徒の思考力、判断力を問うような自由記述のフォームし、評価をAIがサポートします。リフレクションやレポートにご活用ください。

記述フォームの設定 ?

使用する 使用しない

記述フォームの出題タイミング ?

問題と一緒に 問題の回答後

設問内容 (200文字以内)

YouTubeの『低評価ボタン』の数を非表示にすることについて、表現の自由と投稿者の精神的健康のどちらを優先

補足説明 (500文字以内)

補足説明を入力してください

配点 観点タグ

10 点 思考・判断・表現

評価基準 ?

- ・問題を複数の視点から分析しているか。表面的な対立構造の背後にある利害関係・因果関係を捉えているか。
- ・根拠を示して自分の立場を明確にしているか。異なる立場の妥当性も認識した上で結論を導いているか。
- ・主張と根拠の関係が論理的に構成されているか。読み手に伝わる明確な文章になっているか。

削除

観点	問題	記述フォーム	合計	得点率
知識・技能	10/100点	0/0点	10/100点	<div style="width: 10%; height: 10px; background-color: green;"></div> 10.0%
思考・判断・表現	0/0点	7/10点	7/10点	<div style="width: 70%; height: 10px; background-color: green;"></div> 70.0%
主体的に学習に取り組む態度	0/0点	0/0点	0/0点	<div style="width: 0%; height: 10px; background-color: green;"></div> %

[思考・判断・表現]

YouTubeの『低評価ボタン』の数を非表示にすることについて、表現の自由と投稿者の精神的健康のどちらを優先すべきか。あなたの意見を述べなさい。

AI達成度評価: 78% (配点換算: 7/10点)

評価理由: ?

明確な立場表明と論理的な根拠提示ができています。両方の観点を考慮し、具体例も示している。ただし、表現の自由への反論がやや浅く、より深い考察と対立意見への丁寧な検討があればさらに良い。

生徒の回答:

私は投稿者の精神的健康を優先すべきだと思います。確かに低評価の数が見えることで、視聴者は動画の質を判断する材料になります。しかし、悪意のある低評価攻撃で精神的に追い詰められる投稿者もいます。特に若い投稿者にとっては深刻な問題です。表現の自由も大切ですが、低評価ボタン自体は残っているので、意見を表明する自由は守られています。数が見えなくても、コメント欄で建設的な批判をすることもできます。YouTubeは多くの人が使うプラットフォームなので、誰もが安心して動画を投稿できる環境を作ることの方が重要だと考えます。

制限時間を設定や、別画面操作を検知して画面をロックするような仕組みを搭載したCBT機能があります。シンプルに問題を解くためのドリルモードの設定も可能です。

課題形式の設定

試験モード ドリルモード

試験モードでは、1ページに1問ずつ表示され、生徒が自分の回答状況を確認することができます。

制限時間を設定 時間 分

不正疑いのある行為を警告する
フルスクリーンの解除や別タブ/別ブラウザへの移動などの不正行為を検知し警告

不正行為検出時の挙動

警告のみを出して試験続行

不正行為検出時に画面をロックする
試験再開には、教員側の試験管理画面から画面のロック解除が必要となります。



サンプル課題 11/11問目 残り時間 00:43:40

問11 (1)~(3)に答えよ。

(1)
 花子さんと太郎くんは、地理の授業で日本の気候と家計支出の関係について学んでいます。
 花子:「日本は南北に長い国だから、場所によって気温も違うよね。それって家計にも影響があるのかな?」
 太郎:「そうだね。特に光熱費は気温と関係がありそうだ。データを見てみよう。」
 二人は、各都道府県の年平均気温と光熱・水道費のデータを散布図にまとめた。

図1

花子:「散布図を見ると、年平均気温と光熱・水道費には何か関係がありそうだね。」

解答欄

Aの解答群 (配点:10点)

- 年平均気温と光熱・水道費には明確な関係性が見られない。
- すべての都道府県で、年平均気温が1度上がるごとに光熱・水道費が1000円ずつ減少している。
- 年平均気温が高くなるほど、光熱・水道費は減少する傾向がある。
- 年平均気温が高くなるほど、光熱・水道費は増加する傾向がある。

Iの解答群 (配点:10点)

- AとBが正しい。
- CとEが正しい。
- BとDが正しい。
- AとCが正しい。
- DとEが正しい。

解答確認/提出・中断 □ 後で見直し 前の問題へ 全ての解答を確認 問題を一度見る

ご興味がありましたら、以下からお問い合わせください。

コエテコ**Study** by **GMO**



企業名 : **GMOメディア株式会社**
責任者 : **富高辰海**
電話 : **050-1781-4228**
メール : coeteco-study@gmo.media
ホームページ : <https://study.coeteco.jp/top>